

13人が教壇に別れ

学生の指導に尽力し、研究に情熱を注いでこられた教員13人が今年度、定年退職を迎える。 ※氏名、主な担当・専門、主な役職、勤続年数

定年退職

<p>【経済学部】 佐藤 雅幸 教授 「スポーツ論・スポーツ心理学」スポーツ研究所長、42年 宮崎 晃臣 教授</p>	<p>【法学部】 深澤 民司 教授 「日本経済」社会科学研究所長、26年</p>	<p>【国家論】 法学研究所長、36年 増田 英敏 教授</p>	<p>【租税法】 大学院法学研究科長、23年</p>	<p>【商学部】 佐々木 重人 前学長・教授 59年 ※2025年8月31日退職</p>
<p>【文学部】 飯尾 秀幸 教授 「アジア史」大学院文学研究科長、30年 伊藤 博明 教授</p>	<p>【芸術学】 大学院文学研究科長、9年 植村 八潮 教授</p>	<p>【出版学】 図書館長代行、文学部ジャーナリズム学科長、14年 福富 忠和 教授</p>	<p>「コンテンツプロデュース」19年 松尾 容孝 教授</p>	<p>「人文地理学」文学部環境地理学科長、27年</p>
<p>【人間科学部】 広瀬 裕子 教授 「教育と社会」セクシユアル・ハラスメント防止委員会委員長、人間科学部社会科学長、38年</p>	<p>【国際コミュニケーション学部】 石川 達夫 教授 「スラウ文化研究」14年 棟居 快行 教授</p>	<p>【憲法】10年 依願退職・任期満了 山田 節夫 教授 陳 ショウジ 教授 ※1月31日退職</p>	<p>【法学部】 山澤 啓司 助教 【経営学部】 西山 貴弘 教授 矢澤 清明 教授 【商学部】 中原 孝信 教授 【文学部】 野口 武悟 教授 岩澤 龍彦 助教 松原 文枝 特任教授 【ネットワーク情報学部】 峯岸 明弥 助教 【人間科学部】 藤巻 るり 准教授 【国際コミュニケーション学部】 引田 梨菜 助教</p>	

育友会 学生支援の寄付



育友会(佐藤信子会長)は、学修環境の整備等に伴う学生支援として、専修大学に寄付を行った。3月6日、神田キャンパスで贈呈式があり、左ど合計1640万円。

佐藤育友会長(中央)から馬場学長(左から2人目)に目録が贈られた

キャンパス周辺の防災マップ作成



大学周辺で災害時に危険になりそうな場所や有益な防災資源などを記載した防災マップを作るイベントが、2月25日に実施された。個人で申し込んだ学生やSKV(専修神田ボランティア)のメンバーら約30人が参加。降りしきる雨の中、まち歩きを行った。地震時に倒壊の恐れがある壁や大雨で冠水しそうな場所をまち歩きで発見した防災資源を記録した。撮影。まち歩きを終えるの見える化に取り組みだ。リジナルマップを完成させた。チームごとに完成したマップを見せながら、気づいた点を発表し、問題点を共有した。

完成したマップを示し気づいた点を発表

就職だより

〈全年次生へ〉進路選択やキャリア形成の第一歩として、自己理解と仕事理解を深める機会「専修キャリアフェア」を、5月2日(土)生田キャンパスで開催します。学年を問わず参加できる、キャリア形成支援課の学内イベントです。インターシップの基礎を学ぶ企画に加え、企業の担当者や先輩(OB・OG)の経験談を聞けるプログラムも実施予定です。「どんな仕事があるの?」「自分に合いそうなの?」「自分は何?」と感じている方は、ぜひ参加してください。詳細は就職支援システム「Sine

〈新3年次生へ〉インターシップや就職活動に向けた第1回就職ガイダンスを、3月27日(金)にオンラインで実施します。就職活動の全体像と今後の進め方を整理し、自己分析や業界・企業研究、インターシップの活用ポイントを解説します。あわせて、就職支援システム「Sine」の活用方法(求職登録)や筆記試験対策の考え方、就活トラブルへの注意点もお伝えします。このガイダンスを視聴した直後から、皆さんが就職活動やインターシップに向けて前向きに動き始められるよう、具

海外研究員に法・澤山准教授

相馬学術奨励基金

若手研究者の海外派遣などを行う相馬学術奨励基金の2025年度海外研究員に、法学部の澤山裕文准教授(平30院法博)が決まった。澤山准教授は会社法が専門。派遣先は米国のネブラスカ大学リンカーン校ビジネススクールで、期間は3月30日から27年3月29日まで。研究課題は「証券規制における会社情報の収集権の利用可能性」。

校友会情報

税理士試験合格卒業生へお願い
本学出身の会計士・税理士の会である専修大学会計人会(榎本恵一会長)では、2025年度税理士試験に合格した(一部科目合格も含む)卒業生の情報を求めています。

校友新社長 紹介
近藤禎一郎氏(平元商) N.T.T.TCリース(株)代表取締役社長に4月1日付で就任。本社(東京都)総務部。市川靖道氏(平8経済)旭化成不動産レジデンス(株)代表取締役社長に4月1日付で就任。本社(大阪7区)維新、3選中根一幸氏(平12商)比例中国、維新、新例北関東、自民、6選

選挙結果
▽第51回衆議院議員選挙(2月8日投票)
磯山浩美氏(昭60商) 鹿兒島銀行取締役頭取に4月1日付で就任。本社(鹿兒島県)。

「言わなくてもわかる」を卒業する

日常生活の中で「〇〇ハラ」という言葉が可視化されたことで、これまで「指導」や「教育」の名の下にのみ込まれてきた行為を、明確な「問題」として捉えられるようになりました。しかし、解像度が上がった反面、特に教育現場では「何でもハラスメントになるのでは」という過度な萎縮が生まれているのも事実です。私たちが向き合うべき人間関係の機微はより複雑になったと思います。そして、キャンパスは、研究や学びを通じて人間関係の機微が濃密に表れる場所です。難しくなったからといって、「関わらないのが一番」というような消極的な守りの姿勢が良いのでしょうか? 今求められているのは、「自分の意図」と「相手が受け取った影響」の間にあるズレを最小限にするためのコミュニケーション能力です。それは、相手を攻撃せず、かといって自分を押し殺さず、対等に意見を伝えるスキルを磨くことにはなりません。このスキルは単なる「知識」として知っているだけでは不十分で、日々の対話を通じたトレーニングが必要です。「言わなくてもわかるだろう」「こんなことは当たり前だ」という甘えを捨て、丁寧に言葉を尽くす必要があります。人が異なれば見えている景色は驚くほど異なります。お互いの見えている景色の違いを認め合い、そのギャップを埋めるために丁寧に言葉を尽くす。その誠実な態度こそが、ハラスメントのない、真に自由な学びの場をつくる第一歩ではないでしょうか。(キャンパス・ハラスメント対策室員 栗芝 正臣)

キャンパス・ハラスメント対策室 | TEL: 044-900-7858 | E-mail: camhara@acc.senshu-u.ac.jp